

第2回あんぜん塾が開講されました。

平成30年9月5日（水）に倉敷ライフパーク（倉敷市福田町古新田940）において、倉敷労働基準監督署主催の第2回倉敷あんぜん塾が開講されました。

これは、昨年、労働災害が大幅に増加したことを受け、事業場の安全衛生管理レベルアップを目的として開催されるもので、岡山産業保健総合支援センターは共催として、産業保健相談員の成松勇人医師が、「過重労働による健康障害防止」と題し、講演をしました。



成松相談員は、過重労働、心理的に過度の負担のかかる業務は有害業務とみなされ、脳・心臓疾患や精神障害を発症した場合には、職業性疾病と同列扱いになること、有害業務には、「有害業務をなくす」→「有害業務へのばく露をなくす、減らす」→「健康影響を確認する」の順序で対応することが重要であること、また、脳・心臓疾患の労災認定や裁判例などを産業医の立場から説明されました。

第2回あんぜん塾は、9月27日（木）に岡山（おかやま西川原プラザ）でも開催されます。

また、第3回あんぜん塾は11月に開講され、岡山産業保健総合支援センターでは、「化学物質によるリスクへの対応」と題し、講演を行います。